

ポスター発表プログラム Poster presentations

コアタイム

【※欄に*あり】13 日(土)16:40~18:40

【※欄が無印】14 日(日)10:00~12:00

*ありは ポスター賞応募の発表

第 1 会場(2 号館 1F 15 号室)

番号	※	演題	発表者(所属)
P001	*	形態観察と糞中 DNA から明らかになったオバシギとコオバシギの交雑事例	○田谷昌仁 1・黒田理生・安部琴音・新條正志 2・小田谷嘉弥 3・細谷 淳 4・石井康人 1・千葉 聡 1 (1 東北大; 2 都立江北高校; 3 千葉中央博; 4 鳥類標識協会)
P002		トキ飼育下個体群における孵化時および1歳時の生存性間の関連性の推定	小野寺尚美 ¹ ・石井森昭 ¹ ・山田宜永 ¹ ・杉山稔恵 ¹ ・谷口幸雄 ² ・金子良則 ³ ・○祝前博明 ⁴ (1 新潟大院自然科学, ² 京大院農, ³ 佐渡トキプラザ, ⁴ 新潟大佐渡自然セ)
P003	*	天は二物を与えるか?—ホオジロの番い形成成功に与える要因—	○松浦志穂(金沢大)・大河原恭祐(金沢大)
P004	*	沖縄島のリュウキュウコノハズク個体群の羽色・模様に影響を与える要因について	○榛沢日菜子(北大・院理)・武居風香(北大・院理)・池上隆之(北大・院理)・細江隼平(北大・農学院)・江指万里(北大・院理)・高木昌興(北大・院理)
P005		カワラヒワが持つ腸内細菌叢の殺鼠剤に対する反応	○小笠原浩平(北大)・小出将士(北大)・中尾亮(北大)・池中良徳(北大)・中山翔太(北大)・石塚真由美(北大)
P006		釧路湿原に生息するシマクイナから得られた寄生虫と胃内容物について	○吉野智生(釧路市動物園)・貞国利夫(釧路市立博物館)・本藤泰明(温根内ビジターセンター)・藤原伸也(温根内ビジターセンター)
P007	*	ミャンマーの複雑な地理・環境がもたらすヒヨドリ科鳥類の種分化	○檜橋真理環(九大)・吉川夏彦(国立科博)・長太伸章(国立科博)・蛭田眞平(昭和医大)・Win Win Nwe(FRI, Myanmar)・Salai Myo Myint Oo(FRI, Myanmar)・Mu Mu Aung(FRI, Myanmar)・西海功(国立科博)
P008		ヒヨドリの上腕骨・大腿骨に観察された特徴的な形質	○清水伸彦・姉崎智子(群馬自然史博)
P009	*	オオコノハズクの分子系統および集団遺伝解析と形態的多様性	○江指万里(北大)・外山雅大(根室市歴史と自然の資料館)・宮城国太郎(沖縄野鳥の会)・周戸大季(琉大)・富沢直浩(石川県)・Jasmine Elizabeth Black(新大)・高木昌興(北大)
P010	*	ウトウ雛の鳴音モニタリング	小笹瑛一朗(京大)・○川森日向(北大)・Jean Baptiste Thiebot(北大)

番号	※	演題	発表者(所属)
P011		フクロウ雄成長の繁殖期における鳴き声の継続調査結果	○北尾祐介(Albireo,生態計画研究所)・鹿島彩花(Albireo)
P012	*	Text-to-Audio AI を用いて生成する鳥類音声に基づく性選択モデル	○鈴木麗璽(名大)・Hao Zhao(名大)・有田隆也(名大)
P013	*	川崎市周辺におけるガビチョウのさえずりの多様性	○長谷川れい・北村亘(東京都市大)
P014		擬声語付き鳥鳴音声データセットの試作と RAG による検索精度検証	浅野 由衣(Swallow)、寺本 優香(同志社)
P015	*	3音響管モデルに基づくハシブトガラスの声道模型の検討	○木原優太(工学院大), 高橋義典(工学院大)
P016		翼は砂浴び(dust toss)の道具になりうるのか?~粉体物理から見る羽毛の効果~	○越智友都(阪大)・明田卓巳(名大)・藤原慎一(名大博物館)・桂木洋光(阪大)
P017		モズが尾を回転させるのはいつ?	安田耕治(テクノ中部)
P018	*	沖縄島に生息するリュウキュウコノハズクにおける広告声となわばり防衛の関係	○武居風香(北大)、榛沢日菜子(北大)、池上隆之(北大)、高木昌興(北大)
P019	*	速く鳴く個体ほど適応的か?~鳴き声の速さが表す情報の検討~	○堀内晴 1・澤田明 2・金杉尚紀 1・中村晴歌 3・坂井充 1・中田知伸 1・池上隆之 1・高木昌興 1 1 北大・2 早大・3 いであ(株)
P020		巣箱で営巣したフクロウの餌内容について	松永聡美(日本鳥類保護連盟)○・藤井幹(日本鳥類保護連盟)・秋山幸也(相模原市立博物館)
P021		環境調査におけるシマフクロウ録音調査法の適用について	竹中健(シマフクロウ環境研)
P022	*	カラス口腔内における味を感知する構造の解析	○高橋このか(宇都宮大院・地域創成)・青山真人(宇都宮大・農)
P023		鳥類の飛翔にかかわる筋肉と飛翔速度の関係の解明	栗原望(宇都宮大学)・○小田中楽斗(宇都宮大学)
P024	*	鳥類における尾端骨形態の多様性に関する予備報告	○佐藤初海(東洋大院・生命)・郡司芽久(東洋大・生命)
P025	*	ウトウにおける飛行と遊泳の旋回姿勢は上下反転するか?	○関日向(東京農大院)・菊地デイル万次郎(東京農大)
P026		ヒバリのディスプレイ飛翔高度ーある1個体とその周辺個体の高度の季節変化	○三上かつら(バードリサーチ)・三上修(北教大)
P027	*	ダイトウコノハズクだって風に乗るのか?~気象条件と移動距離、利用植生の関係~	○金杉尚紀(北大・院理)、江指万里(北大・院理)、熊谷隼(北大・院理)、澤田明(早大・人科)、高木昌興(北大・院理)

番号	※	演題	発表者(所属)
P028	*	レーザー測距計 VECTOR を用いた鳥類飛翔軌跡の形状による分類の試み	○中込大河(日本気象協会)・島田泰夫(日本気象協会)・藤井直紀(日本気象協会)・板谷浩男(日本気象協会)・工藤嘉晃(日本気象協会)・鎌田和歌(日本気象協会)・桃谷辰也(日本気象協会)
P029		カラスの生活のありさま～愛知県農業総合試験場のカラスの生態～	○西村光由(愛知農総試)・伊藤真(愛知農総試)・林高弘(愛知農総試)
P030	*	ハシブトガラスとハシボソガラスにおける歩容の比較	○岡村早紀(宇都宮大院・地域創生)・菊地デイル万次郎(東農大・農)・青山真人(宇都宮大・農)
P031		ホンセイインコの住居事情	○阿部仁美(千葉科学大)
P032	*	ハシブトガラス剥製ロボットに対するハシブトガラスの反応	○相野谷叶乃(宇都宮大・院・地域創生)・青山真人(宇都宮大・農)・塚原直樹(株式会社CrowLab)・安藤隆寛(中部電力株式会社)

第2会場(2号館 1F 16号室)

番号	※	演題	発表者(所属)
P033	*	谷津干潟でみられるハシボソガラスによる貝落とし行動の季節性と個体差	○中辻百合子(東邦大)・秦陸歩・井上英治(東邦大)
P034		太陽光発電所におけるタカによるカラス追払いの効果検証	○小原愛美(株オオヨドコーポレーション)
P035	*	動物園におけるハシブトガラスとハシボソガラスの採食行動の種間差	○窪田智文(東邦大)・水田拓(山階鳥研)
P036	*	クロツラヘラサギ(<i>Platalea minor</i>)の排泄行動の解明	○長田昇磨(都市大)
P037		餌量の季節変化と農法がアカモズの繁殖成功に与える影響	○寺田透真(人環大)・岡久雄二(人環大)・神谷頼杜(人環大)・近藤七海(人環大)・三宅悠太(人環大)・原星一(アカモズ保全 WG)・藤田知弥(信大)・赤松あかり(アカモズ保全 WG)・米山富和(アカモズ保全 WG)・松宮裕秋(アカモズ保全 WG)
P038	*	クマタカの満1歳および満2歳における換羽の地域差異	○猪狩敦史(クマ観)・伊関文隆(希少研)・先崎愛子(クマ観)・先崎啓究(クマ観)
P039	*	スズメ目鳥類における渡りの日周性:その進化的起源と夜間への移行	○田中涼太郎(弘前大学)・原星一(日本渡り鳥保全・研究グループ)・曾我部篤(弘大)・ムラノ千恵(弘大)・東信行(弘大)
P040		葛西のクロツラヘラサギの休息行動のサンプリング分析	○濱川歩(葛西のクロツラ、都立大)・小久保守晃(葛西のクロツラ)・上原文弥(葛西のクロツラ)・北村亘(葛西のクロツラ、東京都市大)

番号	※	演題	発表者(所属)
P041	*	鳥類が主食になったハヤブサが都市適応をする？	○井上茉優(海城中高,日本野鳥の会東京)、北村亘(東京都市大学)
P042	*	ウミネコが選好する水田環境の特性とその利用パターン	○清稜太(新大院)・永田尚志(新大)・本間航介(新大)
P043		都市近郊のアオサギ繁殖地における他のサギ類の加入・定着とその要因:複数地点の比較から	白井剛(都留文科大/和光大)
P044	*	飼育下モズにおける単独育雛とグループ育雛の成長過程に伴う行動変化の比較	○渡邊竣介(生息域外保)
P045	*	ウミネコの繁殖期と非繁殖期における採餌行動の変化	○山本弥景・但野一成・小澤光莉・仁部駿介・伊藤元裕(東洋大)
P046		伊豆諸島祇苗島におけるオーストンウミツバメの人工巣利用	○山本裕(日本野鳥の会)・寺嶋太輝(東京農工大院・獣医)・手嶋洋子・田尻浩伸(日本野鳥の会)
P047	*	カンムリウミスズメの生態的重要海域の特定	○廣木美帆(帝科大院)・森貴久(帝科大)・田尻浩伸(野鳥の会)・手嶋洋子(野鳥の会)・山本誉士(麻布大)
P048	*	オンラインフォームを用いたイソヒヨドリの分布調査―神奈川県相模原市の事例	○増田侑太郎(都立大)・立木佑弥(都立大)
P049		クロサギの越冬期における羽色と採餌行動及び利用環境の比較	植村慎吾(バードリサーチ)
P050		長野県北部におけるチョウゲンボウの営巣場所周辺における越冬	○本村健(中野市教育委員会)・中山茉奈美(十三崖チョウゲンボウ応援団)・久野真純(広島大・先進理工)
P051	*	日本のライチョウ雄における秋季の行動圏とねぐら行動:GPS 追跡による知見	○堀田昌伸(長野県長野市)・尾関雅章・黒江美紗子(長野県環境保全研究所)
P052		始原生殖細胞の凍結保存によるニワトリ遺伝資源の保全	○奥寄雄也(名大)・西島謙一(名大)
P053	*	繁殖は寿命を短縮するか―歌鳥飼育個体群を用いた検討	○谷村メイチンフィオナ(北大・生命院)・相馬雅代(北大・院理)
P054	*	ハシブトガラスにおけるミトコンドリア DNA の遺伝的多様性について	上野陽彩・青山真人・福井えみ子(宇都宮大院・地域創生)
P055		鳥類における抗がん剤治療の検討:ウズラでの分子標的薬トセラニブの薬物動態	○石井千尋(農工大)・長嶋優子(農工大)・渡部健太郎(農工大)・Ting-Wei Yu(農工大)・山本晴(農工大)・臼井達哉(農工大)・佐々木一昭(農工大)
P056	*	鹿児島県甑島列島におけるリュウキュウキビタキの繁殖集団の発見	○加藤銀次(長大院・総合生産)、江寄真南(鹿大院・獣医)、山口典之(長大院・総合生産)

番号	※	演題	発表者(所属)
P057	*	大阪府南部に生息するフクロウの繁殖期における鳴声の分類と発声頻度の時間変化	○池上隆之(大阪府大・生命、現所属:北大・院理)・村濱史郎(日本バードレスキュー協会)・梅崎澄人(大阪公大・院農)・平井規央(大阪公大・院農)・上田昇平(大阪公大・院農)
P058		センサーカメラを用いた北海道十勝平野におけるハイトカの繁殖生態	○平井克玄(十勝ハイトカ, 北クマ)・嘉藤慎譲(十勝ハイトカ, 北クマ, ちいかん)・太田こるり(十勝ハイトカ)・道川富美子(十勝ハイトカ, 北クマ)
P059	*	伊豆諸島における渡り性陸鳥の季節的な移動パターンを音響モニタリングで探る	○船橋美月(筑波大)・谷口司(筑波大)・飯島大智(筑波大)・上條隆志(筑波大)
P060	*	神奈川県葉山町のウミウシにおける出峙方向とタイミングの月別の変化	○田中雅宏(日大生物博)・笠谷幹朗(日大院)
P061		ハクセキレイの集団ねぐらにおける就峙個体数の推移と夜間採食の記録	○本多里奈(埼玉県自然博)
P062	*	ハシブトガラスの飼育オス集団における優位個体の除去が社会的交渉に与える影響	○阿部響(慶大・早大)
P063		センサーカメラを用いた宮城県仙台湾(蒲生～岩沼間)におけるミサゴの繁殖生態	○嘉藤慎譲 1・太田吉厚 2・西谷理恵 3・田部田勉 4・齊藤賢治 (1(株)地域環境計画・2 宮城県森林インストラクター・3(株)宮城環境保全研究所・4(株)建設技術研究所)
P064	*	なぜ GPS 装着サシバにメスが多い? 性比偏りに関する仮説立案と検証の試み	○内藤アンネグレート素(京都市動物園, ARRCN)・東淳樹(岩手大)・伊藤圭子(奄美いんまや動物病院)・井上剛彦(ARRCN)・遠藤孝一(オオタカ保護基金)・出島誠一(日本自然保護協会)・鳥飼久裕(奄美野鳥の会)・葉山政治(日本野鳥の会)・藤井幹(日本鳥類保護連盟)・松永聡美(日本鳥類保護連盟)・山崎敦子(ARRCN)・山崎匠(ARRCN)・和田のどか(ARRCN)・山崎亨(ARRCN)

第3会場 (2号館 2F 21号室)

番号	※	演題	発表者(所属)
P065	*	樹洞や巣箱は冷凍庫・オオコノハズクの貯食行動	外山雅大(根室市資料館)
P066		兵庫県朝来市和田山町における2025年積雪期のコウノトリの採食生態	栗山(武田)広子(コウノトリ市民レンジャー/コウノトリ市民研/兵庫県立大)
P067		札幌市中央区中島公園においてマガモが樹洞に営巣—オシドリのみね?	○新田啓子(日本オシドリの会)中村眞樹子(NPO 法人札幌カラス研究会)

番号	※	演題	発表者(所属)
P068	*	ハシブトガラスによるキンギンボク有毒果実の採食記録	島田将吾(新潟大)・直江将司(森林総研)・柴田嶺(新潟大)
P069		スズメ目鳥類二種の卵殻表面構造	○松井晋(東海大)・佐藤敦(東海大)
P070	*	CJS モデルを用いたアカモズの生存率推定とその決定要因	松崎秀哉(北大)・市川伸(日本渡り鳥保全・研究グループ)・古巻翔平(厚岸水鳥観察館)・熊谷隼(EnVision)・高木昌興(北大)
P071	*	石狩川河口地域で同所的に繁殖するセンニュウ類 2 種の帰還状況の解明	○岩崎美穂、白岩颯、安田直矢、高木昌興(北大)
P072		小笠原諸島沖の海鳥相-バードウォッチャーによる 5 年間の記録 -	○田野井博之(Seabirding Japan)・田野井翔子(Seabirding Japan)
P073	*	北海道トド島におけるウトウの餌種および採餌域選択と雛の成長	○小島達樹(東洋大)・大門純平(名古屋大)・風間健太郎(早稲田大)・綿貫豊(北大)・仁部駿介・伊藤元裕(東洋大)
P074	*	非繁殖期のクロアシアホウドリの利用海域の多様性と忠実性	○林はるか・西沢文吾(水研機構・水産資源研)・富田直樹(山階鳥研)・塩出大輔(東京海洋大)・越智大介(水研機構・水産資源研)
P075		北海道および東北地方におけるチゴハヤブサの営巣環境	○立石淑恵(オホーツクミュージアムえさし)・高橋雅雄(岩手県博)・東信行(弘大)
P076	*	渡るアオバズクの一年:長期間移動追跡の事例から分かること	○竹田山原楽 1, 2、田谷昌仁 1, 2、塩見こずえ 1、細谷淳 2 (1 東北大、2 鳥類標識協会)
P077	*	鳥取県大山におけるジョウビタキの繁殖生態 ~分子遺伝学および行動生態学の観点から~	楠ゆずは(広大)
P078		北海道北部におけるサンカノゴイの音声調査:生息実態と繁殖行動の予備的解析	○松林志保(関学大)、浦達也(野鳥の会)、中臺一博(東工大)、長谷部真(サロエコ)、鈴木麗璽(名大)
P079	*	ヒドリガモ・オナガガモの性比とペア形成率の季節変動	○浅井美紅(東邦大)・児島庸介(東邦大)・森本元(山階鳥類研究所・東邦大)
P080	*	都会派スズメの子育て戦略~市街地における気温・緑地が営巣地の選好性に与える影響~	○岡村悠太郎(名城大)・橋本啓史(名城大)
P081		ドバトの空間行動と趾欠損の関係性	○海瀬慧・西田澄子・北村亘(東京都市大)
P082	*	内陸都市部におけるイソヒヨドリの環境適応	○大久保亘・北村亘(東京都市大)
P083	*	都市緑地における鳥類-植物相互作用ネットワークのコア鳥類種の同定	湯天禹(東大)・○平尾聡秀(東大)
P084		コシアカツバメは本当はそれほど繁殖はしていない?	福井 亘(栃木・黒磯高校)

番号	※	演題	発表者(所属)
P085	*	佐賀平野におけるカササギの営巣分布に影響を与える環境要因とカラスとの関係	○土屋佳央(佐大)・永渕拓歩(佐大)・佛坂安恵・池上真木彦(国環研)・徳田誠(佐大・鹿大)
P086	*	営巣場所の密度の違いは樹洞営巣性鳥類の生息や繁殖にどう影響するか？	○深水彩(東大)
P087		熊本県菊池溪谷における森林性鳥類相の変遷	○佐藤重穂(森林総研)
P088	*	インターネット上に発信された目撃情報を活用した日本の野生ウズラの分布調査	○宮地李果(麻布大)・戸張靖子(麻布大)
P089	*	ウミネコ巣立ち雛はどこへ向かうのか？：巣立ちから越冬までの移動と活動量の記録	○杉山響己(名大)・水谷友一(同志社大)・後藤佑介(名大)・依田憲(名大)
P090		オガサワラノスリ ファクトシート	千葉夕佳
P091	*	オガサワラカワラヒワの飼育下での繁殖行動について～初の繁殖成功事例より～	○鈴木創・堀越宙・飴田洋祐・神門英夫(IBO)
P092	*	全ゲノム解析で評価するタンチョウの遺伝的多様性と近親交配	○中村陽月(京大)・佐藤悠(京大)・大沼学(国環研)・村山美穂(京大)
P093		感染初期のマガモにおける高病原性鳥インフルエンザウイルスの体内動態と宿主免疫応答	○佐久間咲希(農研機構)・西浦颯(農研機構)・峯淳貴(農研機構)・熊谷飛鳥(農研機構)・内田裕子(農研機構)・宮澤光太郎(農研機構)
P094	*	円山公園に生息するオシドリ食性の把握に向けた糞中 DNA 解析の試み	○木下佳也(北海学園大)・早矢仕有子(北海学園大)・新沼協(北海学園大)
P095	*	東京湾沿岸部におけるマイクロプラスチックの保有状況の 30 年後の変化	○植田晴貴(日獣大・獣医)・徳長ゆり香(北大・獣医)・清水智帆(日獣大・獣医)・橘敏雄(応用生物)・西川和夫(応用生物)・加藤卓也(日獣大・獣医)・羽山伸一(日獣大・獣医)
P096		国内で商業輸送される廃鶏の環境調査	○諸木裕子(日女)・深町昌司(日女)
P097	*	ニュージーランドのミズナギドリ寄生性ハジラミの記録と iNaturalist の活用	前朝琉
P098	*	鳥類の夜間の渡り行動に及ぼす人工光の影響	○和賀大樹(北大)・長田幸子(いであ)・佐藤友徳(北大)・先崎理之(北大)
P099		クロツラヘラサギの日の出日の入りスイッチについて	○小久保守晃(葛西のクロツラ)・北村亘(葛西のクロツラ、東京都市大)・木村成美(NPO birth)上原文弥(葛西のクロツラ)

番号	※	演題	発表者(所属)
P100	*	夜間人工光による海鳥の行動変化	○永井彩実(北大)・富田直樹(山階鳥研)・西沢文吾(水研機構 水産資源研)・綿貫豊・Thiebot Jean-Baptiste(北大)
P101	*	GPSトラッキングによるタマシギの周年行動と環境利用の季節・昼夜変化	喜多村珠妃(人環大・環境)・根本宗一郎(西三河野鳥の会)・上田(人環大・人環)・岡久(人環大・環境)
P102		北海道オホーツク海沿岸に生息するカワウの GPS ロガーを用いた広域移動調査	○羽根田貴行(WMO)・富田大陸(WMO)・加藤洋(WMO)
P103	*	クロアシアホウドリは船舶の存在に対してどのように反応するのか?	○金潤秀(北大水産)・富田直樹(山階鳥研)・越智大介(水研機構)・Jean-Baptiste Thiebot(北大水産)
P104		デジタルメソッドで描く、北海道のオジロワシをめぐる環境運動の社会関係と争点形成	韓智仁(阪大)
P105	*	国内におけるケリの非繁殖期の GPS 発信機追跡結果	○小丸奏(興栄 C、岐阜大)・藤崎雄大(岐阜大)・田中智・伊藤健吾(岐阜大)
P106		ケリ幼鳥の出生から 1 年間の追跡～GPS および足環装着個体の移動、帰還、越冬、繁殖～	○脇坂啓子(関西ケリ研究会)脇坂英弥(関西ケリ研究会)
P107	*	換羽サイクルに基づく鳥類の年齢記録システムー日本における導入の意義	○細谷淳(鳥類標識協会)
P108		大和川下流部の水鳥の 30 年	和田 岳(大阪市立自然史博物館)
P109	*	市民科学と画像認識 AI をもちいた絶滅危惧種の識別	○福井智樹(東京都市大)・吉田祐一・工藤萌華(生態教育センター、葛西鳥類保全委員会)・菊地伸夫・堀直子・渡辺欣正(東京都公園協会、葛西鳥類保全委員会)・北村亘(東京都市大、葛西鳥類保全委員会)
P110	*	都市公園における鳥類の空間利用:植栽樹木との関係に着目して	○酒井結(農工大院・農)・諸澤崇裕(農工大・野生動物センター)
P111		日の出後の経過時間がスポットセンサスの記録率に与える影響:季節・環境による比較	○久野真純(広島大)・大坂英樹(トリルラボ)・大橋正明(日本野鳥の会)・村上公輝(日本野鳥の会)・本村健(中野市教育委員会)・Xike Xiao(広島大)・出口翔大(福井市自然史博)
P112	*	都市鳥からみたエコロジカル・ネットワーク形成に必要な条件の解明	○西亮憲(名城大院)・橋本啓史(名城大)
P113		環境が異なる FSC 認証林における鳥類の比較と評価	○高木憲太郎(バードリサーチ)・天野陽介(WWF ジャパン)
P114	*	カメラ撮影を活用したカラスのねぐら調査法の試行	○加納彩海(岐阜大院・自然研)・酒井泰和(日本野鳥の会岐阜)・森部絢嗣(岐阜大院・自然研)

番号	※	演題	発表者(所属)
P115	*	日比谷公園における野鳥の鳴き声自動識別と位置検出	○吉田聖弥(東京都市大)・宮崎滉平(ハイラブル)・柳楽浩平(ハイラブル)・水本武志(ハイラブル)・北村亘(東京都市大)
P116		市民参加による渡り鳥の夜間フライトコール(NFC)録音調査の運用と課題	○大坂英樹(トリルラボ)・田米希久代(加賀市鴨池観察館)・櫻井佳明(加賀市鴨池観察館)
P117	*	鳥類相の季節変化からみた人工干潟の再生状況の評価	○東直希(広島工大)・岡浩平(広島工大)
P118		東北地方に生息するコムクドリの気候変動による分布変化の予測	大泉龍太郎(北大・院理)・池田小春(岩大・院)・高木昌興(北大・院理)・山内貴義(岩大・農)
P119	*	水田景観の捕食者サシバの主要生息地における餌生物カエル3種の分布決定機構を探る	○尾上愛実(東大)・藤田剛(東大)・宮下直(東大)

第4会場(2号館2F 22号室)

番号	※	演題	発表者(所属)
P120	*	山中湖のコブハクチョウ個体識別管理の取り組み	○葉山久世(かながわ野生動物 SNW) 加藤ゆき(神奈川県博) 篠田授樹(地域自然財産研究所) 菊池博(横浜市金沢動物園)
P121		モニ1000 陸生鳥類調査(一般サイト)からわかった北海道の鳥類の増減	○奴賀俊光・葉山政治((公財)日本野鳥の会)
P122	*	渡り性水鳥の生息地選好から導く普通種保全の希少種への波及効果	○清水孟彦(北大)・堀隼輔(ドーコン)・末田晃太(日本気象株式会社)・市原農太郎(ウエスコ)・和賀大樹(北大)・広部康太(北大)・先崎理之(北大)
P123	*	北関東の平野部における草原性鳥類の分布特性と農地の利用実態の把握	○並木大斗・上條隆志・飯島大智(筑波大)
P124		西日本におけるツル類の越冬期時について	重永明生・○加藤ゆき(神奈川県博)
P125		オホーツク地方でタンチョウの越冬個体群は成立するか?	○正富欣之(JTRI)
P126		北海道北部日本海側に生息するチュウヒの繁殖経過に伴う営巣位置の変化	○東谷和徳((株)セ・プラン)・土門優介((株)ドーコン)・先崎啓啓・先崎愛子(道央鳥類調査グループ)・森田佑介・森田静
P127	*	絶滅危惧種に対する地域住民の意識調査ーコアジサシの保全に向けてー	○大塚育(千葉科学大)・阿部仁美(千葉科学大)

番号	※	演題	発表者(所属)
P128		気候変動対策としての秋耕と鳥類の食物量のトレードオフを軽減するには	○田尻浩伸(日本野鳥の会, 片野鴨池自然研)・田米希久代(加賀市鴨池観察館, 片野鴨池自然研)・林 俊夫(太田川土地改良区)・東英治(大聖寺下福田町生産組合内 あぢの郷米部会)・谷 和幸(大聖寺下福田町生産組合)・横山明男
P129	*	捕食者除け構造を有する巣箱での外来種アライグマによるヤマガラ繁殖巣の攪乱	○小川華奈・松井晋(東海大・生物)
P130		新潟県における傷病鳥の収容データから見たネコ被害の実態	○佐藤悠子(愛鳥センター)
P131	*	動力源の異なる自動車騒音が鳥類の捕食者検知感度へおよぼす影響	○坂元利駆(近畿大院・農)・石若直人(近畿大院・農)・早坂大亮(近畿大・農)
P132		高速道路 IC 内で確認されたサギ類の多様な営巣様式	○芳賀大(野鳥の会愛知県支部)・西村祐輝(野鳥の会愛知県支部)・橋本啓史(名城大)・東実優(名城大)
P133	*	西表島および石垣島におけるカムリワシのロードキル発生環境	○森嶋茜(帯広畜産大)・水谷晃(Island Ecosystem Research)・山本誉士(麻布大)・浅利裕伸(帯広畜産大)
P134	*	航空写真×レーザ計測: 洋上の鳥類の三次元モニタリングに向けた試み	○倉部鈴美・板谷浩男・中込大河・工藤嘉晃・藤井直紀・島田泰夫・桃谷辰也(日本気象協会)・若松孝平・玉井翔・高野正範・佐橋優也(中日本航空)
P135		イギリスの自然保護団体による湿地環境創出の事例紹介 国内のチュウヒの保護を目指して	○稲葉一将(日本野鳥の会)・浦達也(日本野鳥の会)・山本裕(日本野鳥の会)・手嶋洋子(日本野鳥の会)・田尻浩伸(日本野鳥の会)
P136		北海道猛禽類研究会の活動紹介 -「北海道の猛禽類 2025 年版」の発行-	藤巻裕蔵(帯畜大名誉教授)・○工藤晃央・山田芳樹・山口珠輝・堀隼輔(ドーコン)・天野拓郎(日本工営)・一北民郎(北電総合設計)・大坪二郎(いであ)・紀國聡(建設技術研究所)・栗原絢子(長大)・小林功(パシフィックコンサルタンツ)・先崎啓究(道央鳥類調査グループ)・瀧本育克・徳永尚起(建設環境研究所)・玉田克己(道総研エネルギー・環境・地質研究所)・玉田祐介(道総研林業試験場)・土屋尚(ユリーカ北海道)・木村智紀(北海道技術コンサルタント)・平井克亥(北海道ラプター)・谷津繁芳(森林環境リアライズ)
P137	*	アーカイブ資料参照の可否による標本データの精度検証の有効性	○染矢楓久(北大・農)・加藤克(北大・農/北セ)
P138		漆芸の鞘塗り技法「鶴足革包研出」についての検討: 「鶴足革」はツルか否か	○久井貴世(北大)・酒田堇

発表プログラム Program

番号	※	演題	発表者(所属)
P139	*	江戸時代の東北地方におけるワシの狩猟 —弘前藩と盛岡藩の記録を中心に—	○池田圭吾(北大文学院)
P140		遺跡出土タカ科の骨形態同定基準の作成:前肢編	○許開軒(北大)